



**道の駅がオープン一周年**

六月二十三日、道の駅「湧水の郷しおや」は、早いものでオープン一周年を迎えました。

この一年間に、「湧水の郷しおや」を訪れたお客様は約三十三万人。当初予定していた十三万人を大きく上回り、たくさんの方にご来場いただきました。

この日は、ステージイベントとして、船生かぶき村やユリピー吹奏楽の皆さんなど大勢の方々にパフォーマンスを披露していただき、その他にも様々な出店が並び盛りだくさんの内容でした。

道の駅「湧水の郷しおや」が地域活性化の拠点として、二周年、三周年と大きく飛躍していくことを期待しています。



**家族に支えられて相撲一筋!**

このほど、長年に渡り相撲に携わり、町内外の相撲協会でご活躍された和氣勝さん（東房区）に旭日単光章が叙勲されました。

和氣さんは、県相撲協会理事長を十八年も努められ、少年育成、相撲普及に尽力されました。

今回の叙勲に対し、和氣さんは「好きな相撲を続けただけなので、身に余る光栄です。支えてくれた家族に感謝したいです」とお話しくださいました。「勝者が敗者の手をとって引き上げる」相撲という競技の高潔さをそう表した和氣さんの言葉には、達者として辿り着いた境地を感じることができました。

和氣さん、今回の叙勲、おめでとうございます。

六月二十四日、西古屋ダムにおいて、県防災航空隊と塩谷広域消防本部との合同水難救助訓練が行われました。

この訓練は、県防災ヘリコプター「おおるり」も参加して行われたもので、水難事故を想定し、要救助者をつり上げた後、岸に待機する隊員へ搬送するという訓練でした。

それぞれの隊員は、上空と地表との連携を確認しながらの訓練となりました。

水難事故がなければそれが一番良いのですが、もしもの時の訓練は欠かせないと感じた一日でした。



**水難救助訓練を実施**

**水道水のルーツを学ぶ**

普段、何気なく蛇口を開く水道水のルーツを学びに、船生小学校四年生が六月五日に、玉生小学校四年生が六月十日に、鳥羽浄水場や尚仁沢の取水口を見学に訪れました。

児童のみなさんたちは、施設の説明をする建設水道課の職員の話に耳を傾け、熱心にメモをとっていました。

水道水の仕組みを学び、節水の意識が高まったのではないのでしょうか。



**来たるべき就職に備えて**

今年も、塩谷中学校二年生による職場体験事業「マイチャレンジ」が、町内外三十二事業所の協力を得て行われました。

事業所の一つである船生小学校では、中学生たちが先生の補助を行っての授業が展開されました。また、休憩時間には児童との交流が活発に行われていたようです。

他にも、おみやや保育園では、園児たちの食事でデザートを配ったり、ミルクを注ぐなど給仕をし、プールの時間では園児たちの安全に気を配っていました。

今回の体験が、将来の就職の際に役立つことを願っています。



**大宮コミュニティが表彰**

六月十五日に県庁で行われました県政誕生百四十年記念式典において、大宮地区コミュニティ推進協議会及び同会長の鈴木榮一さん（肘内区）が、長年に渡る地域貢献活動が認められ、知事より表彰されました。

大宮地区コミュニティ推進協議会では、夏の風物詩となりました「ふれあい盆踊り大会」や、「長〜いのり巻寿司作り」など、地域に密着した活動を行っています。

ちなみに、今年の「ふれあい盆踊り大会」は、八月十一日に行われるとのことです。

大宮地区コミュニティ推進協議会の皆さんの、益々のご活躍を期待いたします。

五月三十一日、第二十九回交通安全子ども自転車大会矢板地区大会が、矢板市体育館で開催されました。

本町からは大宮小学校六年生が代表で参加し、左右前後安全確認手順やジグザグ走行技術を競い合いました。

団体戦では惜しくも敗れましたが、青木果蓮さんが見事個人の部で優勝を果たしました。

出場選手が学んだルールや乗り方が、これからは友達の見本になることと思います。

青木さん、個人の部の優勝おめでとうございます。



**青木果蓮さん(大宮小)が個人の部で優勝**

**役場ってどんなところ?**

このほど、船生小と大宮小の三年生が役場に社会科見学に来てくれました。

各課の仕事の内容についての説明に、熱心に耳を傾けていました。

町長室の椅子の座り心地は?と聞いたら、「思ったよりカタイ」ですって。

